



三芳みらい
抜井尚男
ぬく い ひさ お

三芳町第5次総合計画について 過去を検証し、明るく豊かな総合計画策定を

新しい総合計画を策定するには、第4次総合振興計画の検証と課題を抽出し、第5次総合計画に反映すべきと考える。担当は現状をどう捉えているのか。

問 人口の目標設定（4万3000人）は如何か。

答 **政策推進室長** 目標人口に達しなかった主な要因は、合併をせず、単独市政を目指す、当時の町の状況により推計が多めに加算をされた結果と捉えている。

問 土地利用区分（住宅・工業ゾーン）が構想通りに進捗していない地域があるが。

答 **政策推進室長** 役場周辺や竹間沢及び工業ゾーンについては農地法や都市計画法の規制で進まなかった。今後は地権者の意向を踏まえ用途見直しや区画整理事業の検討が必要と考える。

問 行財政運営は計画目標通りに出来たのか。

答 **政策推進室長** 行政改革大綱策定実施等で一定の行財政計画は実施してきたが、扶助費増加や税収が減少し経常収支比率が悪化した。将来を見据え財政調整基金の積み増しをするなどの改革をしてこなかった等の反省点もある。



問 第5次総合計画基本構想案の課題に財政問題が掲げられているが問題改善の為の計画はあるのか。

答 **政策推進室長** 法人町民税の減収、扶助費や普通建設事業費の増加が財政を圧迫している。計画では緊急重点プロジェクトを明記し行財政基盤強化プロジェクトに取組み公債費抑制に取組む8年間と考える。

問 町民の皆様が明るく豊かになれる総合計画を創って頂きたいが如何か。

答 **政策推進室長** 町民が元気に明るく暮らせる様に考えるのが行政の仕事。人が集い住み働き易い魅力あるまちを目指し創造したい。



三芳みらい
安澤 豊
あん ざわ ゆたか

世代間交流の充実を！ 町民への周知 防災無線の活用について

問 町民体育祭を行う目的とは。

答 **生涯学習課長** 子供から高齢者までの町民がスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、町民相互の親睦とスポーツを通しての健康、体力づくりを行う動機づけを図るとともに、町民の交流を深めることが目的。

問 第56回町民体育祭中止について、前日より雨の予報で予備日を設けていたが、なぜ強行したのか。

答 **生涯学習課長** 前日より実行委員会検討、当日再度検討したが、天候の回復が見られないため中止となった。

問 町民体育祭中止の町民の意見や苦情は。

答 **生涯学習課長** 予備日に実施しなかったことの見やご不満、高齢者や子供に対しての配慮不足など。

問 今後の町民体育祭の開催意義や重要性は。

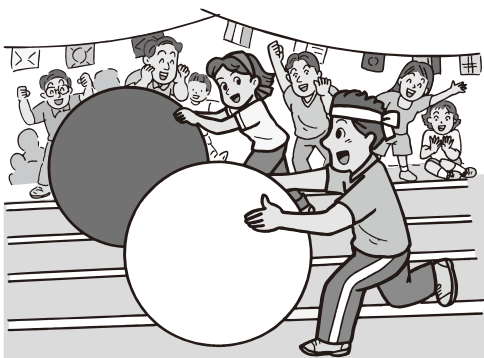
答 **町長** 今回の町民体育祭中止に様々な意見、質問をいただいた。参加者の不満の残る大会となったが、実行委員会も大変な苦慮した上での判断であったのでご理解いただきたい。町民体育祭は町民が一体となり、各行政区で競技を競

い合い地域コミュニティの増進につながると考えている。

防災無線について

問 警察との連携による犯罪者警告、消防との連携による大規模の火災警告など防災無線の活用は。

答 **自治安心課長** 緊急時の放送であり、東入間署管内で凶悪犯逃亡など確実な情報であれば防災無線を活用することとなる。大規模火災については緊急の場合、消防組合庁舎より土日夜間であっても、遠隔操作により防災無線を起動することができ活用することが可能である。





公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ

町民の命を守るがん検診受診の推進 喉頭がん摘出後の医療器具に費用助成を！

問 がん検診受診率の推移とその分析は。

答 保健センター所長 大きな変化はないが肺がん、大腸がん検診は増加傾向だ。

問 特定健康診査とがん検診を同時に受ける「総合検診」の推進は。

答 住民課長 特定健康診査受診券のご案内と一緒にがん検診受診可能な医療機関一覧を同封している。

問 がん検診を平日に受けられない方への対応は。

答 保健センター所長 特定健康診査等を日曜日に診療を行う6か所の医療機関で受診可能。今後周知する。

問 乳がん検診は医療機関での個別検診も導入しては。

答 保健センター所長 医師会と協議しているが、厚生労働省の指針に沿って実施できないでいる。

問 自らがリスクを把握できるアプリ「がん検診のススメ」を導入しては。

答 保健センター所長 検診の動機付けには有益であり、早期に導入を検討する。

問 喉頭がん等で喉頭摘出後の代用音声「シャント発声」の医療器具を障がい者日常生活用具に認定し、費用を助成してはどうか。

答 福祉課長 県内3自治体で給付している。情報を集め検討する。

子育て情報の提供

問 スマートフォンを活用し情報を提供する「子育て応援アプリ」導入は。

答 こども支援課長 子育てガイドブックを作成中だが、いつでもどこでも利用できるアプリは便利であり、導入について検討する。

障がい者権利擁護推進

問 「障害者差別解消法」施行に対する町の取組みは。

答 町長 障がい者全体に対応した権利擁護の条例制定を検討する。



気道気管シャント法で声が出るしくみ
©がんサポート 2012年6月号

町民福祉向上のための環境整備について いのちと財産を守る防犯防災対策の拡充は



公明党
小松伸介
こまつ しんすけ

問 非構造部材の耐震化や、ガラス飛散防止フィルム設置推進に対する検討は。

答 財務課長 公共施設マネジメント基本計画に基づく大規模改修等を実施する際に合わせて検討していく。

問 無電柱化やライフラインの共同溝化の検討は。

答 道路交通課長 町内は1か所のみ実施。今後は財政上の事もあり、区画整理事業や大規模開発等、当初計画からでないと思われる。

問 医療器備蓄の検討は。

答 自治安心課長 用意すべき資機材について三芳医会と消防組合へ調査依頼済。

問 一戸一灯運動の検討は。

答 自治安心課長 自治会等から自主防犯活動の一環として運動が沸き上がれば素晴らしいとは考えている。

この問題について

問 杉並区相談窓口アプリのようなシステム導入は。

答 学校教育課長 経費等、課題があるが今後検討する。

問 教職員を対象にゲートキーパー研修を実施しては。

答 学校教育課長 今後、県の動向を注視し、研修の機会があれば各学校へ通知し、参加を募っていきたい。

問 国からの交付金活用は。

答 福祉課長 条件等確認し、活用可能なら活用する。

職員について

問 「朝型勤務と早期退庁の推奨」実施状況と効果は。

答 総務課長 延べ12名が実施。ワークライフバランスの推進に効果があった。

問 QCを導入しては。

答 総務課長 QCに似た特別研修を実施済だが、QCの有効利用も検討する。

町民体育祭について

問 全天候型の町民体育祭を検討しては。

答 生涯学習課長 実行委員会に伝え、協議依頼する。
※QCとは…クオリティコントロールの略

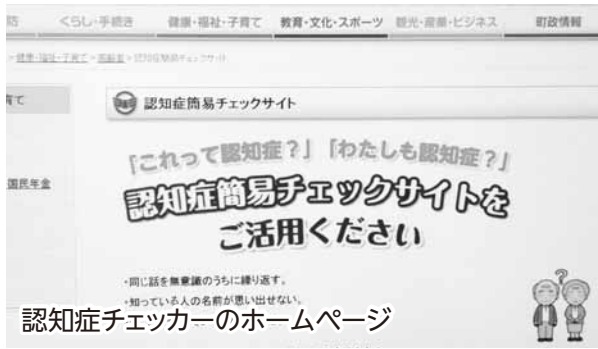




公明党
岩城桂子
いわきけいこ

マイナンバー制度の円滑な導入を！ 児童生徒へのAED講習会を推進しては！

- 問** 公平公正な社会、利便性の向上などきめ細かな社会保障が的確に行われるよう、個人番号カードの申請が着実に行われるために住民への周知や説明会は。
- 答** **政策推進室長** 広報やHPで周知。住民課の窓口で対応しサロンや資料提供、今後説明会を開催していく。
- 問** 高齢者や障がい者へのマイナンバー制度の対策は。
- 答** **政策推進室長** 詐欺などの注意喚起を行い民生委員や関係機関と連携を取っていききたい。
- 問** 個人情報保護などのセキュリティ対策はどうか。
- 答** **財務課長** 特定個人情報ガイドラインに基づき電算管理やパスワードで管理し安全対策を図っていく。
- 認知症対策について**
- 問** 認知症チェッカーのアクセス数と周知効果は。
- 答** **健康増進課長** 5月～10月まで3487件。早期発見のためにも有効で、HPのトップにバナーを設ける。
- 問** 認知症見守りネットワークの登録にQRコードやステッカーを配布し、行方不明者の対策はどうか。
- 答** **健康増進課長** 先進



- 地を見て考えていく。
- 問** 地域での認知症見守り模擬体験の実施はどうか。
- 答** **健康増進課長** 今後、認知症サポーター養成講座の中で実施していきたい。
- 町民の命を守る対策は**
- 問** 24時間使用可能なAED屋外型収納ボックスを学校に設置してはどうか。
- 答** **教育総務課長** 保管管理が求められるが研究する。
- 問** 集会所へAED内蔵型の自動販売機設置はどうか。
- 答** **自治安心課長** 防災タイプの自動販売機を2か所設置している。維持費などで業者が限られるが検討していきたい。



新芳会
細谷三男
ほそやみつお

ふるさと納税制度の活用で観光産業をPR! 創意工夫による新たな特産物の掘り起こしを

- 問** 三芳町まちづくり寄附金の申し込み件数と金額の詳細はどのような状況か。
- 答** **政策推進室長** 10月1日より開始したが、7件で13万5千円である。
- 問** 観光産業との関わりはどのようにされているか。
- 答** **政策推進室長** 町の産業特性を活かすため、町内事業者に対して農産物、工業製品等種類を問わず謝礼品の公募を行った。農業団体、商工会にも周知を依頼、応募のあった中より農産物、加工品等の15品目を選定した。これらを謝礼品としてPRすることで地域の活性化につなげていきたい。
- 問** 謝礼品に記載されているサツマイモ、蘭、お茶以外にも需要のある葉根菜類が多く生産されているが。
- 答** **政策推進室長** 落ち葉野菜セットの中に、数量的には少ないが、生産された野菜が入れられている。
- 問** 特産物以外にも、魅力ある謝礼品を揃えることで寄附額が増えると思うが。
- 答** **政策推進室長** 町では特産物以外にも、工業

あなたとふるさとをつなぐ
ふるさと納税



- 問** 創意工夫による取組が必要ではないか。
- 答** **町長** ふるさと納税制度は、特産物のPRやシタイプロモーションにも役立つ、何よりも財政の面でプラスになる。また、防災協定を結んだ上三川町の特産物を送ってもらうなど魅力ある品を謝礼品として提示し、一人でも多くの方に三芳町への寄附をしていただけるよう取組みたい。
- その他の質問**
- 職員採用方法等について（新採用職員及び再任用職員）



新芳会
細田 三恵
ほそだ みつえ

災害の避難はコミュニティが大切！ ふれあいセンター代替場所を早期に

問 平成27年10月に行われた地域連携避難訓練の参加人数は前年と比べてどうか。

答 **自治安心課長** 昨年は1000人、今年度は1400人。訓練メニューの充実、行政区の方がたへ声をかけた成果だと思う。協力団体の枠を医療、福祉事業者へ拡げた効果もある。

問 周知方法は。

答 **自治安心課長** 広報みよし・ホームページ・ツイッタリによる公の周知。行政区によっては訓練内容をチラシにして回覧。来年度へ継続する中で参加者の広がりを持たせたい。日頃のふれあいの中に「顔の見えるネットワーク」が大事。

問 災害時の職員の対応と配置は。

答 **自治安心課長** 初動体制は、町内に居住する職員で構成する緊急避難対応班を新設。避難所ごとに職員を配置、学校の体育館の鍵を貸与、土日夜間の発災の避難所開設に対応できる様になっている。

問 町内マンションとの関わりは。

答 **自治安心課長** 管理組合等からの要請があれば訓練等への参加も可能。

ふれあいセンターについて

問 平成28年3月閉館後の代替場所の状況は。

答 **福祉課長** 民間の福祉施設を借用予定で検討中だが、手続き上、半年程度先になるので、それまでの間、現在地を使用する。

問 代替施設の管理方法は。

答 **福祉課長** なるべく環境が変わらないサービスを提供していきたい。

問 周知方法は。

答 **福祉課長** 広報みよし・ホームページで利用者へしつかりと周知する。

その他の質問

マイナンバーについて



地域避難訓練



新芳会
鈴木 淳
すずき じゅん

三芳町を魅力あふれる町にするために 町の魅力発信と公共交通・公園の整備が大切

問 今回で5回目を迎えた「世界一のいも掘り大会」。今回の参加人数は。

答 **観光産業課長** 今回は一般参加者が6000人。同伴者も入れると10000人ほどの参加があり、年々増えてきている。

問 天皇杯の受賞により、川越いもへの関心も増すと思うが、今後の規模拡大は。

答 **観光産業課長** 交通整備やボランティア、協力農家の拡大の準備ができるようであれば拡大したい。

問 三芳町のそばの生産量は南関東一を競うほどだが、町の魅力の一つとしてPRしていく考えはあるのか。

答 **町長** 農業の町、みよし野菜のブランド化を進めていく中で、そばもしっかりとアピールしていきたい。

問 SNSアプリ、LINEのスタンプを販売し始めたが、それにかかった経費と購入者数はどのくらいか。

答 **政策推進室長** 職員作成のため、経費はかかっていない。購入者は推測だが、300人前後かと思う。

問 前回のデマンド交通試験運用から乗降場を増やしたことで、町民の反響は。

答 **政策推進室長** 新規の乗降場の利用が約3割。使

いやしくなった、登録する契機になったとの反響。

問 平成28年度から、ごみの収集方法を変更するのか。

答 **環境課長** ペットボトルの収集日が毎週水曜日になる等。周知は広報と住民説明会で行う予定。

問 今後開園予定の富士塚土地区画整理地内の公園の規模や遊具の計画は。

答 **都市計画課長** 広さは2550㎡。平成28年度早々に近隣住民や区の役員と意見交換を行い、その後設計の予定になっている。

その他の質問

①みよし野菜6次産業創業塾②ライフバス③防災無線について



みらいくんのぞみちゃんのLINEスタンプ



日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

住民の命を守る防災計画は十分か 三芳スマートICフル化で交通安全は

問 震災対策で、高齢者家庭の家具転倒防止器具の取り付けなどを助成、促進すべきでは。

答 **福祉課長** 高齢者に特化した課題ではない。今後、他市町村の例を参考にしながら調査・研究していきたい。

問 ブロック塀の生垣化を推進すべきでは。

答 **自治安心課長** 環境・防災にも優しい、いにしえからの知恵であるが、自助の範囲で検討頂きたい。

問 近隣自治体とは同時被災が考えられるが、県外市町村との応援協定の計画は。

答 **自治安心課長** 栃木県上三川町と協定を結んだところだが、もう少し遠方も検討したい。

問 町内AEDの設置場所がわかるAEDマップを作成しては。

答 **健康増進課長** 課題として検討していきたい。

問 国道254号を歩いて帰宅する帰宅困難者に対し、水の確保と共に町内のパン、菓子メーカーに優先的に商品を提供してもらってはどうか。

答 **自治安心課長** 沿道通過者には、水やトイレ、情報提供のみを考えている。

問 放射性物質等漏洩事故対策について、医療体制、避難誘導は。

答 **自治安心課長** 広域医療体制が必要で、町独自では困難。原発事故など、広域受け入れも準備・検討が必要。

三芳スマートICフル化について

問 交通安全等、近隣市とはどのような協議を進めていくのか。

答 **総合調整幹** 地区協議会の実施、近隣市との調整・協議を進めていく必要性がある。県・関係市町と連携の場を設け検討していく。



三芳スマートICへの狭く危険なアクセス道路
(三芳町・ぶじみ野市場)



三芳みらい
井田 和宏
い だ かず ひろ

みよし野菜の更なるブランド化について 農を活かした地域活性化策を

問 産業祭の農産物品評会に出展してもらう工夫は。

答 **観光産業課長** 過去最多の出展数であり、県内でも評価を得ている。農業技術の場と認識している。

問 みよし野菜の情報発信拠点を庁舎内に設置しては。

答 **観光産業課長** 産業観光グループと考えながら持続していきたい。

問 第54回農林水産祭で三芳町川越いも振興会が天皇杯を受賞した効果は。

答 **観光産業課長** 三芳町の財産であり、みよし野菜のブランド化にもつながるものと考えている。

問 みよし野菜や循環型農業を発信するチャンスでは。

答 **観光産業課長** 今後多様な方と連携して三芳町の知名度アップ、循環型農業を広げていきたい。

問 三芳町の特徴を謳った農業振興計画を策定しては。

答 **観光産業課長** 地域農業のニーズに細かく対応した後に地域活性化に向けた条例等も研究していきたい。

問 ケヤキ並木通りの歩道の整備状況は。

答 **道路交通課長** 整備率は約72%である。

問 県への働きかけは。

答 **道路交通課長** 引き

続き早期完成に向けて要望を続けていきたい。

問 農業センターの改修は。

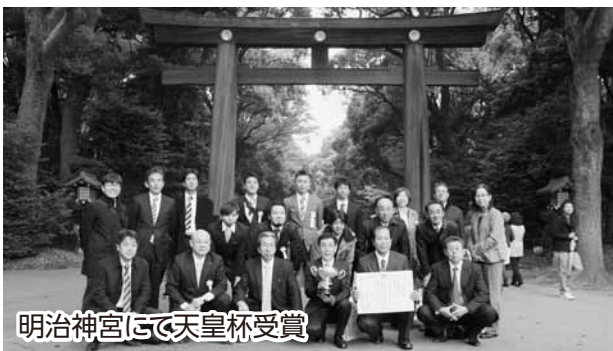
答 **観光産業課長** 今後改修を含めた耐震化を図っていききたい。

問 駐車場の整備は。

答 **観光産業課長** 駐車場の少なさは認識している。今後財務課との協議を含め検討していきたい。

問 雑木林に対する相続税の軽減を国に働きかけては。

答 **観光産業課長** 継続的に県、国や学識者、専門家、メディアにも働きかけ三芳町のヤマが残るために声をあげていただこうように活動をしていきたい。



明治神宮にて天皇杯受賞



久保 健二
くほ けんじ

住みやすい！住んでよかった！町づくり！ 安心して歩ける！走れる！道路＆歩道整備！

雨水対策について

問 三芳中学校の校門のところは以前から板で橋を渡して通らなければならぬ程の水溜りが出来ており、早期対応が必要と考えるが改善出来ないか。

答 教育総務課長 平成27年度、業者による浸透井戸の清掃を行う予定。改善出来ない場合は単に堆積した汚泥やゴミの清掃だけでなく、井戸の浸透部分の改善が可能か調査研究していく。

問 いつ頃対応出来るか。

答 教育総務課長 平成27年度中に対応したい。

問 北永井郵便局前の水溜りについて、早期改善が必要と感じるが、今後どのような対応を考えているか。

答 道路交通課長 集水桝のグレーチングを目の粗いものに交換して対応したい。

問 グレーチングの交換で改善出来なかった時は。

答 道路交通課長 測量をし、L型側溝が原因であれば郵便局周辺に集水桝を新たに1基設置し対応したい。

町内公園の利用規約、ドッグランの設置について



問 ドッグラン設置計画は。

答 町長 竹間沢東公園を選定し、検討している。

問 公園で「ボール遊びはダメ」「犬を入れてはダメ」といった看板が目につくが、公園によって利用出来る看板設置をするべきでは。

答 都市計画課長 看板の記事事項は矛盾しているものについては改善していく。ある程度の広さのある特定の公園については区の役員、地域住民の理解が得られれば個別に話を進めていき、ボール遊び等出来るようになればいいと考えている。

その他の質問

①自転車法規改正後の取組み ②歩道整備・改善、歩道設置について

子ども・子育て支援新制度で何が変わったか 孤立する子供や若者の支援について



日本共産党
増田 磨美
ます だます み

問 新制度で、4月から保育料が所得税に応じた算定から、市町村民税に算定に変更されたため、9月からの保育料は平成26年度の市町村民税に算定になったが、保育料の上がつた保護者の最大差額は。

答 こども支援課長 32000円。値上げでなく兄弟の卒園により2分の1補助がなくなったため。

問 保育料が上がった保護者の数と平均差額は。

答 こども支援課長 128名で平均7791円。

問 保育料が下がった保護者の数と平均差額は。

答 こども支援課長 174名で9176円。

問 新制度では、保護者の就労状況等により、保育時間を短時間認定（8時間）と標準時間認定（11時間）に分ける事になったが（保育料の差額は、1.7%）保育料金の増減は、保育時間の認定（増減）に関係しているか。

答 こども支援課長 延長保育は、2回使うと400円となり、標準時間認定の保育料より高くなってしまう。希望があれば翌月より認定を変えている。

問 孤立する子供や若者の支援をどう考えるか。

答 町内から高校に通う不登校生徒の把握は。

答 学校教育課長 把握はしていない。

問 いわゆる引きこもり等の青年の把握は。

答 生涯学習課長 把握はできていない。

問 非常に見えにくいとは思いますが、だからこそ家から出られず、声をあげられなくて辛い思いをしている青年、親に対する支援や施策が必要なのは。

答 教育長 関係機関と相談しながら支援の方法を研究し考えていきたい。





日本共産党
吉村美津子
よしむら み つ こ

子宮頸がん予防ワクチンの副作用は深刻 マイナンバー制度は中止・撤回すべき

子宮頸がん予防ワクチン接種後に体調を悪くした人は、判明しただけで全国で2584人。子宮頸がん予防ワクチンの液体を身体に注入後、突然歩行困難になったり、頭をハンマーで殴られるような痛み、時には親さえわからぬ記憶障害や自分でコントロールできない不随意運動で悩まされたり、体中が常に痛むなど副作用の被害は深刻。

問 子宮頸がん予防ワクチンの副作用を周知しては。

答 保健センター所長 問い合わせや接種時には、医師や職員等で、この副反応について詳しく伝えている。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種は、安全性が確保できるとまで控えるべきでは。

答 保健センター所長 厚生労働省の基準に従い対応していく。

マイナンバーの「個人番号カード」申請は任意

問 マイナンバー制度のデメリットは、情報流出やなりすまし犯罪、プライバシーの侵害などがある。「個人番号カード」の申請は「任意」と伝えては

答 住民課長 問い合わせ

せ時などで、「任意」と伝えてはいる。

問 国民は、マイナンバーを他人に見られないようにしたり、紛失しないようにする手間が大変。住民がカードを盗みとられたり情報漏えいなどによって被害を受けたとき、町は責任をどうとるのか。

答 町長 始まったばかりの制度で難しい面もあるので、様子を見ていきたい。

ふれあいセンターは新築で対応すべきでは

問 老朽化のふれあいセンターは新築で。住民と十分な話し合いをすべきでは。

答 町長 住民と話し合いをしていきたい。



請願

不採択 地方自治の尊重を政府に求める意見書の提出を求める請願について

● 請願趣旨

沖縄県辺野古新基地建設をめぐることは、名護市民と沖縄県民による明確な反対の意思が重ねて示されているにもかかわらず本県工事が着手された。住民の生活に重大な影響をもたらす基地を建設するに当たっては、地方自治の観点からも住民、自治体の同意が不可欠。地方自治体と国は対等な立場にある筈であり、地方自治の尊重を求める意見書を国に提出することを求める。

● 審議結果

本請願は、直接本議会で審議され、「不採択」と決定した。

不採択 安全保障関連法の成立過程について、誠実で丁寧な説明と再審議を求める意見書の提出を求める請願

● 請願趣旨

9月19日に成立した安保関連法は、多くの法律家が憲法違

反と主張。採決は混乱のうちに行なわれ、その後も各地で反対運動が繰り返されている。

国民の理解が得られていないことは首相自らも認めているところである。9月19日に「成立した」とされる安保関連法案の成立過程について誠実で丁寧な説明をすること、再審議をすることを国に求める意見書を提出することを求める。

● 審議結果

本請願は、直接本議会で審議され、「不採択」と決定した。

